

# 児童虐待問題、根本的解決策を

横浜市会議員やまうら英太

全国の児童相談所に寄せられる児童虐待相談対応件数が年々増加しています。

## 事件の多くが通告なし

昨年度の神奈川県の子虐待相談対応件数は2707件あり、そのうちの1072件は横浜市で発生しております。前年度と比較して若干減少はしていますが、まだまだ改善の必要性が感じています。

虐待相談が増加している要因には、虐待問題に対する世間の理解と関心の高まりに伴う通告増もあります

## 貧困との関係を調査

虐待そのものの要因も多岐にわたったり、その発生メカニズムも複雑ですが、虐待が増加している背景には、このような社会状況が理由とも考えられるのではない

## 親も孤立無援

望まない妊娠による出生でしようか。

産、家庭環境の複雑化、貧困生活が理由で児童虐待に至るケースも少なくありません。

また、都市化、核家族化の進行も伴い、これら親を支える者も身近にいないという状況が一般化しています。



やまうら 英太

【略歴】

- ◆東戸塚小、舞岡中、国際海洋高、オレゴン大学卒業、グローバルビジネス経営大学院修了、㈱ニトリ
- ◆横浜市認定保育園園長 ◆衆議院議員秘書
- ◆2015年 横浜市会議員初当選

山浦英太事務所 戸塚区吉田町978-7  
045-864-3112 <http://www.yeita.net/>

現代という時代はまさに

子育て受難の時代であり、孤立無援の中でストレスを抱え込まざるを得ない状況が一般化しています。

ています。

いです。